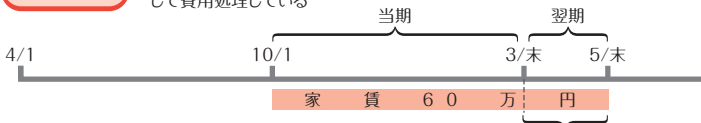


経過勘定仕訳の具体例（3月決算の場合）

前払費用

当期10/1に10月～翌年5月の家賃60万円を前払いして、地代家賃60万円として費用処理している

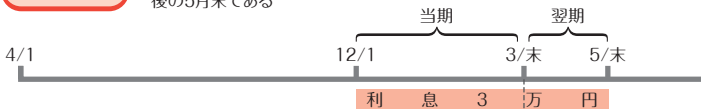


$60\text{万円} \times 2\text{か月 (翌期対応分)} / 8\text{か月 (支払った月数)} = 150,000$
 前払費用 150,000 地代家賃 150,000

全部費用処理しているので、翌期対応分を資産計上!

未払費用

当期12/1に短期で10万円を借り入れた。利息3万円と元金の支払日は半年後の5月末である

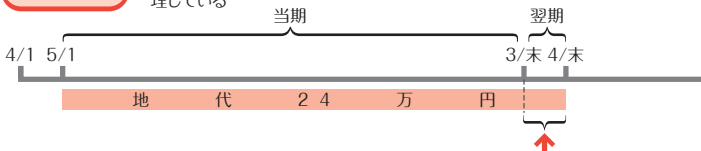


$3\text{万円} \times 4\text{か月 (当期対応分)} / 6\text{か月 (利息支払日までの月数)} = 20,000$
 支払利息 20,000 未払費用 20,000

まったく費用計上していないので、当期対応分を費用計上!

前受収益

当期5/1に向こう1年分の地代24万円を受け取り、受取家賃24万円として処理している

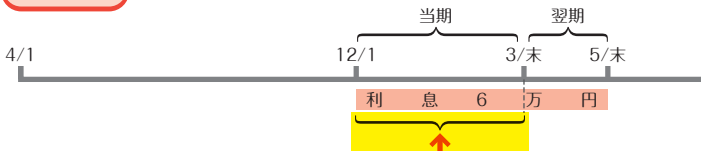


$24\text{万円} \times 1\text{か月 (翌期対応分)} / 12\text{か月 (地代に係る月数)} = 20,000$
 受取家賃 20,000 前受収益 20,000

全部収益処理しているので、翌期対応分を負債計上!

未収収益

翌期5/31に、当期12月から半年分の預金利息6万円を受け取る予定



$6\text{万円} \times 4\text{か月 (当期対応分)} / 6\text{か月 (利息に係る月数)} = 40,000$
 未収収益 40,000 受取利息 40,000

まったく収益計上していないので、当期対応分を収益計上!

